

# 平成18年3月定例教育研究評議会議事録（案）

・日 時 平成18年3月16日（木）15時00分～17時26分

・場 所 事務局第1会議室

・出席者 古在学長，山根，宮崎，天野，藤井，藤澤，各理事  
金子，辻，柿原，明石，藤澤，西村，安田，安藤，三宅，山内，上野，  
伊勢崎，三上，竹内，齋藤，栗山，岩間，守屋，島倉，西川，菊池，犬伏，  
野口，小倉，石垣，山本，堀江，徳久，中谷，米今，各評議員（36名）  
陪 席：赤岩監事，伊藤副理事  
（欠席者：多賀谷，土屋，秋元，森）

・前回教育研究評議会議事録について  
原案どおり承認された。

・審議事項

1．平成18年度計画について

学長から平成18年度計画（案）について審議願いたい旨提案があった後，天野理事から資料に基づき説明があり，審議が行われた。

説明の概要は次のとおり

- ・中期目標に4年間で概ね4%の人件費を削減することを記載することとなったが，3月9日付けで文部科学省から18年度計画は何%になるのかを記載するよう要請があったため，「概ね1%の人件費の削減を図る」旨記載した。
- ・中期計画の実施済みの事項については年度計画を設定しないこととした。
- ・予算関係については現在積算中である。
- ・今後経営協議会の審議を経て役員会で決定し，3月末日までに文部科学大臣あて提出することとなる。

学長から意見等がある場合は次週の月曜日までに天野理事あてお願いしたい旨発言があった。

2．教員の削減計画（総人件費改革の実行計画対応）

学長から教員の削減計画（総人件費改革の実行計画対応）について審議願いたい旨提案があった後，藤井理事から資料に基づき説明があり，審議が行われた。

学長から，昨年8月に第1次教員の削減計画を示したときは運営費交付金の削減に対応したものであったが，今回は総人件費5%削減プラス地域手当と高齢者再雇用及び障害者の採用に対応した計画案となっている旨説明があった。

また，人事は，担当理事の了解を得たものしか進められないことになる旨発言があった。

主な意見交換は次のとおり

- ・ 1年間1名の不補充とされているが1年間何もなかったらその後は補充してもよろしいか。
- ・ やめる人がいなければやむを得ない。

学長から士気に影響をするか否かは部局長がどう思うか或いはどう伝えるかにもよるので、これを機会に改革を進めよう、質を高めようというかたちで伝えていただきたい旨発言があった。

### 3. 就業規則改正案について

学長から4月1日付けで改正を予定している就業規則改正案について審議願いたい旨提案があった後、藤井理事から資料に基づき説明があり、審議が行われた。

### 4. 諸規程について

学長から人文社会科学研究科の設置及び薬学部改組、その他組織の変更等に伴う諸規程の制定・改正(18.4.1 施行)について審議願いたい旨提案があった後、藤井理事から運営組織の説明があり、引続き、大和田企画総務部長から諸規程について資料に基づき説明があり、審議が行われた。

宮崎理事から新規機構について補足説明があった。

説明の概要は次のとおり

- ・ 例えば、文部科学省からの外部資金の申請に応じていくのに、本学としてどのような組織の中で検討していくのかなどを明文化しておくことが求められている。
- ・ 現状では各種委員会が具体的な企画を立案し先導していくような委員会に必ずしもなっていないきらいがある。
- ・ 企画室は企画を立てて委員会に報告する機動性がある構造にしていきたい。

主な意見交換は次のとおり

- ・ あるプロジェクトを考えて企画室を作るのか。
- ・ 従来常置委員会でやってきたが、企画室とのすみ分けはどうするのか。
- ・ 並立になった場合、どちらに重点がおかれるのか。
- ・ 企画室は委員会に上げる具体的な企画を立てるのが任務であり、決定権は従来どおり委員会である。
- ・ 委員会の整理が必要になるかもしれない。
- ・ 企画室にいる人は常時それをやっていることになる。また、企画室には若手の教員を活用し、委員会にきちんとした企画を上げられるようにしたい。
- ・ 長い歴史のある委員会もあるが企画室が委員会の事情も知らずに企画を立てた場合、教育研究に不都合が生ずることはないのか。
- ・ 新規機構に今ある部局の長(経験者)が入って議論をするのが理想的な方向に進む手段ではないのか。
- ・ 学術推進企画室は今までなかったものである。大型予算獲得に向けて立ち上げたのはいいことであるが、面々と走ってきたものに対してはそれなりの配慮された機構が必要ではないのか。

・今までの常置委員会がより機動力を増すような形で進めていきたい。

5. 学長選考会議委員の選出方法についての千葉大学教育研究評議会申合せの一部改正について

学長から教育研究評議会から学長選考会議委員を選出する際の申合せの一部改正について審議願いたい旨提案があった後、安田評議員(学長選考会議専門部会副主査)から資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

6. 国立大学法人千葉大学総合安全衛生管理機構規程の一部改正について

学長から環境安全及び健康安全に関する事故・法令違反行為に対して、機構が改善・再発防止に必要な措置を講ずるための所要の改正について審議願いたい旨提案があった後、藤澤理事から資料に基づき説明があり、審議が行われた。

7. 国立大学法人千葉大学総合安全衛生管理機構改善措置規程の制定について

学長から環境安全及び健康安全に関する事故・法令違反行為に対して、機構が改善・再発防止に必要な措置を講ずるための所要の改正を受けての改善措置規程の制定について審議願いたい旨提案があった後、藤澤理事から資料に基づき説明があり、審議が行われた。

8. 千葉大学と神田外語大学との単位互換について

学長から千葉大学と神田外語大学との単位互換について審議願いたい旨提案があった後、宮崎理事から資料に基づき説明があり、審議が行われ、具体的に進めることとなった。

9. 学生の海外渡航及び留学生の受入等に関する危機管理マニュアル(案) について

学長から学生の海外渡航及び留学生の受入等に関する危機管理マニュアル(案)について審議願いたい旨提案があった後、宮崎理事から資料に基づき説明があり、審議が行われた。

説明の概要は次のとおり

- ・学生が海外に出かけていく場合に、海外渡航届を出していただくこととした。
- ・卒業旅行も含めて届けを出していただきたい。
- ・マニュアルについて20日までに目を通していただき意見をお願いしたい。

学長から成案ができたならホームページに掲載し、様式をダウンロードできるように旨発言があった。

10. 千葉大学とジェフユナイテッド市原・千葉との連携について

学長からジェフユナイテッド市原・千葉との連携について審議願いたい旨提案があった後、天野理事から資料に基づき説明があり、審議が行われた。

## 11. 千葉大学とロッセマリーニズとの連携について

学長から千葉大学とロッセマリーニズとの連携について審議願いたい旨提案があった後、天野理事から資料に基づき説明があり、審議が行われた。

学長からジェフユナイテッド市原・千葉及びロッセマリーニズとの連携について先方も教育に貢献したいとのことでありインターンシップなどにも活用したい、また、教育研究・地域連携という観点で活動ができるのではないかと考えている旨発言があった。なお、3月末か4月初めに新聞発表も考えている旨発言があった。

## . 報告事項

### 1. 平成17年度学内評価結果について

天野理事から平成17年度学内評価の結果について報告があった。

なお、これが最後の学内評価となり次回は認証評価になるため準備をお願いしたい旨発言があった。

### 2. 部局間交流協定の締結について

天野理事から文学部と燕山大学外国語学院(中国)との部局間(学術)交流協定締結について資料に基づき報告があった。

### 3. 平成18年度個別学力検査等について

安田評議員(入試担当副理事)から平成18年度個別学力検査(前期日程の実施状況と後期日程の受験状況)及び私費外国人留学生選抜実施状況・志願者の国別状況について報告があった。

### 4. 平成20年度以降の入学者選抜について

安田評議員(入試担当副理事)から平成20年度以降の入学者選抜について、平成19年度方式を継続することの報告があった。

なお、入試に連動する改組がある場合は早めに連絡をお願いしたい旨発言があった。

### 5. 駐輪・駐車利用有料化について

藤澤理事から自動車・自転車利用者に負担をお願いすることについて説明があった。

### 6. 平成18年度春の防災訓練について

藤澤理事から平成18年度春の防災訓練部局及び日程について報告があった。

### 7. 評議員等の交代について

学長から資料に基づき評議員等の交代について報告があった。

### 8. 平成18年度会議開催の予定について

大和田企画総務部長から資料に基づき平成18年度会議開催の予定(案)について報告があった。

## 9. その他

(1) 大和田企画総務部長から I D E 主催 ( 本学が共催 ) 高等教育研究フォーラムが 3 月 2 5 日 ( 土 ) に学術総合センターにて開催される旨説明があり , 参加及び周知依頼があった。

(2) 柿原評議員から A P E C 国際シンポジウムの開催について , 報告並びにお礼の挨拶があった。

会議終了にあたり , 退任する評議員及び赤岩監事から挨拶があり , 引き続き , 山根事務局長から事務系幹部職員の異動について報告があった。

最後に , 学長から謝辞が述べられた。

以 上